

平成28年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	市立総合病院機能強化推進事業				
基本目標	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり				
基本施策	地域医療体制の充実				
施策	市立総合病院の機能整備を推進します				
所属名	病院事務部医療支援課				
事業開始年度	平成18年度	事業終了年度			
新規継続区分	既存	事務事業類型	施設等整備	実施計画区分	実施計画事業
実施主体	市が実施すべき	市補助金等区分	補助金等なし	外部化等改善	民間委託
非実施影響	生命財産の危機	緊急性	直ちに発生	実施時効果	安全度向上
根拠法令等					
事業概要	がん診療連携拠点病院推進事業 医療スタッフ、施設設備の充実				

2. 主な指標の状況							
項目	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
活動指標	放射線治療総件数（単位：件）	計画値	9,200.00	9,300.00	9,400.00	9,500.00	9,600.00
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	総保険点数（単位：千点）	計画値	29,000.00	30,000.00	31,000.00	32,000.00	33,000.00
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成27年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	B：現状のまま継続
これまでの見直し及び改善の経過	平成24年3月に腫瘍センター外来東館の供用開始。新規高精度放射線治療システム（ノバリスTX）の導入により、がん治療体制の強化を図った。電子カルテ化に伴い、従来、カルテ庫として利用していた不要スペースを、再利用し外来診察室等に改修し、患者受入体制の充実を図った。
活動単位の評価	放射線治療機の稼働件数は、例年目標数値を上回り、有効活用が図られている。 外来改修による診察室等の充実を図った。
見直しが必要な項目	将来的な病院の方向性にもよるが、建物の老朽状態の詳細な調査を行い、建物本体の経年劣化箇所の計画的改修計画が必要である。

4. 平成28年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成29年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	B：現状のまま継続
活動単位の選択と集中	放射線治療機の有効稼働。 経年劣化による建物改修、環境整備を図る。
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	建物外壁面、屋上防水、内部の床・壁・天井のリニューアル等、建物全体の整備を図る。
活動単位の中長期的な方向性	経年劣化による不具合箇所について、建物検査結果を参考に早期に改修を行う事で、建物全体の延命化を図る。

平成28年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	E S C O事業				
基本目標	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり				
基本施策	地域医療体制の充実				
施策	市立総合病院の機能整備を推進します				
所属名	病院事務部医療支援課				
事業開始年度	平成25年度	事業終了年度	平成39年度		
新規継続区分	既存	事務事業類型	施設維持管理	実施計画区分	実施計画事業
実施主体	市以外で一部可能	市補助金等区分	補助金等なし	外部化等改善	民間委託
非実施影響	該当なし	緊急性	実施理由あり	実施時効果	安全度向上
根拠法令等					
事業概要	E S C O事業による、熱源設備、ポンプ類等の関連設備機器の更新・充実を行い、併せて光熱水費、二酸化炭素排出量の削減を図る。				

2. 主な指標の状況						
項目	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	光熱水費の保証額以上の削減（単位：千円）	計画値	35,880.00	35,880.00	35,880.00	35,880.00
		実績値	38,440.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	CO2排出量の削減（t／年）	計画値	962.00	962.00	962.00	962.00
		実績値	1,046.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成27年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	B：現状のまま継続
これまでの見直し及び改善の経過	平成24年度にE S C O事業者による設備更新及び改修工事の実施。 平成25年度からE S C O事業開始。
活動単位の評価	E S C O事業導入により、光熱水費の削減、二酸化炭素の削減等、多くの有効な効果が得られ、費用等の削減に繋がった。
見直しが必要な項目	現在のところ順調に事業が進捗していることから、見直しが必要な項目はない。

4. 平成28年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成29年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	B：現状のまま継続
活動単位の選択と集中	光熱水費の削減、二酸化炭素の削減等、目標値以上の成果を得られるよう努める。
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	施設設備の運転及び維持管理の中で、エネルギー削減や二酸化炭素の削減等、目標を上回る成果得られるよう努める。
活動単位の中長期的な方向性	平成39年度までの15年間で、E S C O事業者による施設設備の運転及び維持管理等を適切に継続する。

平成28年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	災害医療体制整備事業				
基本目標	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり				
基本施策	地域医療体制の充実				
施策	災害時医療体制の充実・強化を進めます				
所属名	病院事務部医療支援課				
事業開始年度	平成17年度	事業終了年度			
新規継続区分	既存	事務事業類型	施設等整備	実施計画区分	実施計画事業
実施主体	市が実施すべき	市補助金等区分	補助金等なし	外部化等改善	協働
非実施影響	生命財産の危機	緊急性	直ちに発生	実施時効果	安全度向上
根拠法令等					
事業概要	災害拠点病院の責務を果たすため、ライフライン維持機能の整備や、衛星電話の整備による情報収集機能の充実、初期被ばく医療機関としての資機材整備を進める。				

2. 主な指標の状況							
項目	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
活動指標	事業費用の節減（単位：千円、H30は百万）	計画値	20,000.00	20,000.00	68,740.00	154.00	20,000.00
		実績値	38,114.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	整備事業進捗状況（単位：%）	計画値	26.33	32.40	53.26	100.00	0.00
		実績値	38.71	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成27年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	B：現状のまま継続
これまでの見直し及び改善の経過	衛星電話の設置による情報収集機能を充実。 電力確保のための発電設備改修整備。 飲料水確保のため井水用水中ポンプを更新。
活動単位の評価	災害対応に係る、増設が必要な発電設備等はあるが、費用面の負担が非常に大きいことから、早急に改修が必要な設備から整備を優先し対応を図っている状況。
見直しが必要な項目	災害拠点病院の条件とし、建物では震度6で倒壊しない耐震性能はあり、関連設備においても、電力では通常の6割の発電容量を確保し、3日間分の燃料・食糧・水・医薬品の備蓄量は確保できているが、発電機を冷却するための設備や貯水設備等、特に屋外に設置してある物は15年経過し、経年劣化が進行していることから、今後、これらを維持するための改修・更新を行う経費が必要となる。

4. 平成28年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成29年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	B：現状のまま継続
活動単位の選択と集中	平成27年度から平成30年度までの期間において、大型事業実施計画掲載の、必要な災害対策整備を計画的に行う。
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	平成28年度は、上水道受水槽（FRP製96立方メートル×2基）及び上水・井水用高架水槽（FRP製48立方メートル×2基）の耐震性能を向上させるためステンレスパネル溶接型受水槽の更新工事の実施設計を行う。
活動単位の中長期的な方向性	概ね平成30年度までには、地震等災害時の対策整備を充実・完了する。